

朝日新聞社賞
(高校部門)

東京都立戸山高等学校 3年

篠崎 しのぎまき
日和 ひより

ゆっくりでも止まらなければけっこう進む

元はやぶさ2プロジェクトマネジャー 國中均 教授

「質疑応答に移ります。」司会のアナウンスも耳に入らずに私は呆然と
していた。初めて参加した講演会。第一線で活躍する科学者のプレゼン
は難しくて、当時の私は半分も理解出来なかった。しかし話の最後、ス
クリーンに大きく映し出されたその言葉に衝撃を受けた。全力で頑張り
続けるだけが道ではないのだ、と。はやぶさが推力の小さなエンジンを
用いていることは知っていた。が、なんとなく小さな積み重ねで高みを
目指す方法は、はやぶさだけに許されたことと思っていた。「はやぶさだ
けじゃありません。」あの日の壇上の教授の言葉に何度救われただろう。
あれから四年。二度目の受験を控えた今も、私はこの言葉に支えられ
ている。

受賞にあたって

大学入試の小論文対策で何か適当なコンテストを探していたときに、学校でポスターを見て応募しました。中学生の頃、ブームだったはやぶさの映画を祖母と見に行ったところ、こんなに面白い世界があるのかとはまりました。そんなとき、両親が教えてくれた講演会に行つて、この言葉と出会いました。高校には頭がいい人が多く、圧倒されることもよくありますが、そんなときにもこの言葉のおかげで、焦らずに自分は今何をすべきかを見つめ直すことができます。